

2020年12月期 第3四半期 決算資料

スター精密株式会社
<https://www.star-m.jp>

証券コード 7718

2020年11月12日

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2020年12月期 第3四半期 決算資料

■当第3四半期の概況	P 2
■連結業績概況	P 3
■四半期情報（売上高）	P 4
■事業別概況	
特機事業	P 5
工作機械事業	P 6
精密部品事業	P 7

<参考資料>

■工作機械受注台数<四半期推移>	P 9
■事業および取扱い製品	P 10

減収減益も通期予想を上方修正し2円増配

■ 売上高	316.4億円	△32.1%	(前年同期比)
■ 営業利益	10.1億円	△78.8%	(")
■ 経常利益	12.3億円	△75.1%	(")
■ 親会社株主に帰属する 当期純利益	6.0億円	△81.9%	(")

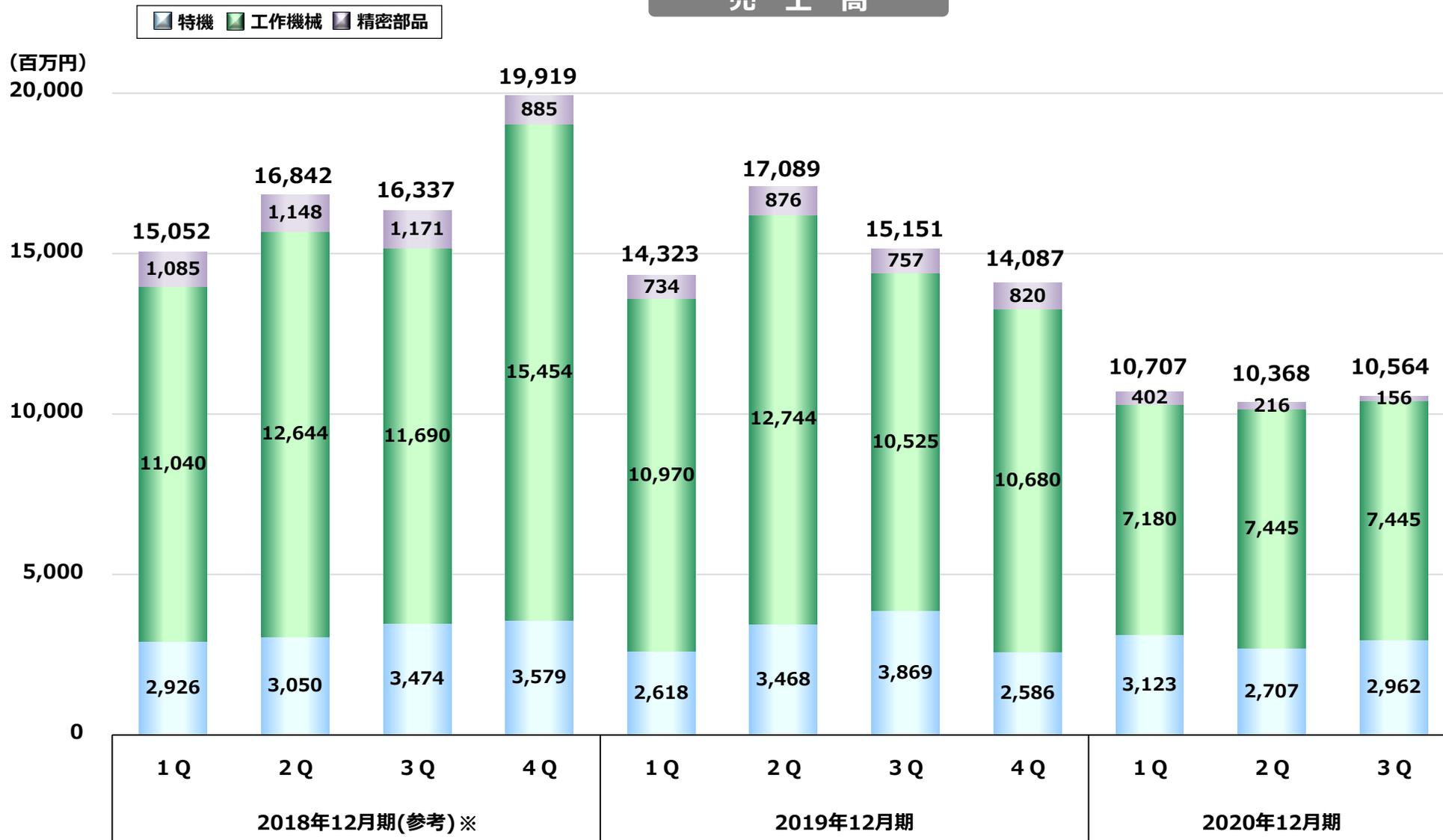
- ✓ 新型コロナウイルス感染症の影響などにより大幅な減収減益
- ✓ 特機事業・工作機械事業ともに上振れ、通期予想を上方修正
- ✓ 期末配当を2円増配、上場来最高の年間58円(10期連続増配)

(百万円)

	第3四半期					通期						
	2019年12月期実績		2020年12月期実績			2019年12月期実績		2020年12月期予想				
	金額	利益率(%)	金額	利益率(%)	対前期比(%)	金額	利益率(%)	前回(8/11発表)		修正予想(11/12発表)		
金額								利益率(%)	金額	利益率(%)	金額	利益率(%)
売上高 特機	9,956		8,793		△11.7	12,542		10,330		11,670		13.0
工作機械	34,240		22,071		△35.5	44,920		29,680		31,960		7.7
精密部品	2,368		775		△67.3	3,188		990		970		△2.0
合計	46,564		31,640		△32.1	60,651		41,000		44,600		8.8
営業利益 特機	1,537	15.4	1,312	14.9	△14.6	1,614	12.9	1,010	9.8	1,560	13.4	54.5
工作機械	4,914	14.4	1,364	6.2	△72.2	6,332	14.1	1,600	5.4	2,070	6.5	29.4
精密部品	114	4.9	42	5.5	△62.8	184	5.8	40	4.0	50	5.2	25.0
消去又は全社	△1,754		△1,701			△2,314		△2,000		△2,080		
合計	4,812	10.3	1,018	3.2	△78.8	5,817	9.6	650	1.6	1,600	3.6	146.2
経常利益	4,960	10.7	1,237	3.9	△75.1	6,161	10.2	700	1.7	1,800	4.0	157.1
親会社株主に帰属する当期純利益	3,364	7.2	607	1.9	△81.9	4,053	6.7	100	0.2	1,000	2.2	900.0

為替レート	US \$	109.15円	107.60円	109.06円	106.65円	107.16円
	EUR	122.66円	120.91円	122.08円	119.66円	121.73円
	GBP	139.05円	136.80円	139.27円	135.80円	136.60円
	CHF	109.69円	113.21円	109.72円	111.06円	113.67円

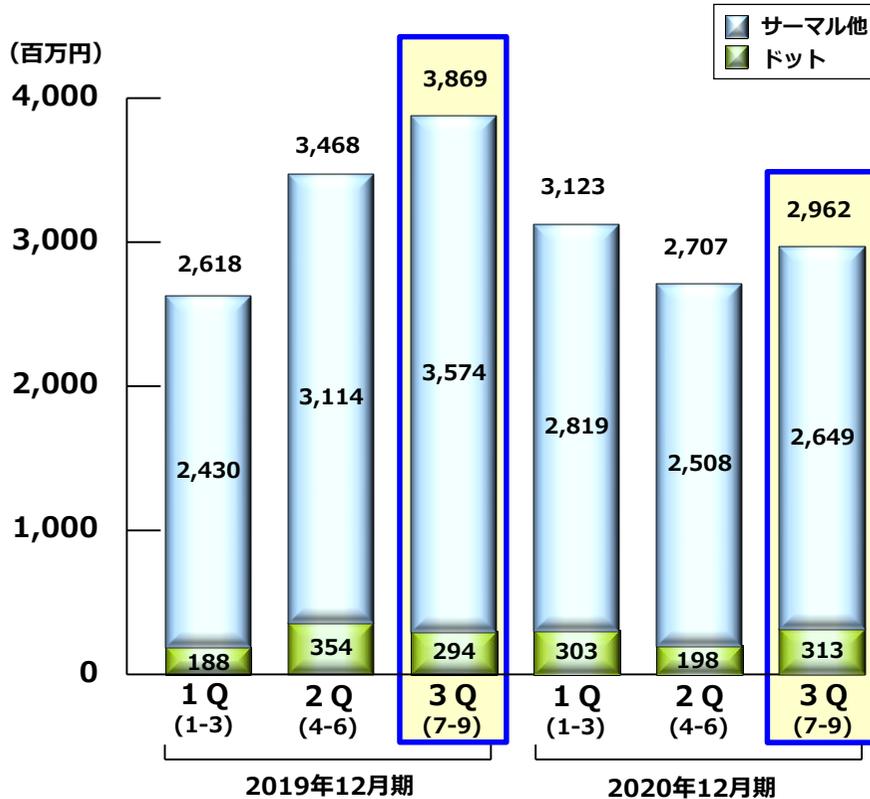
売上高



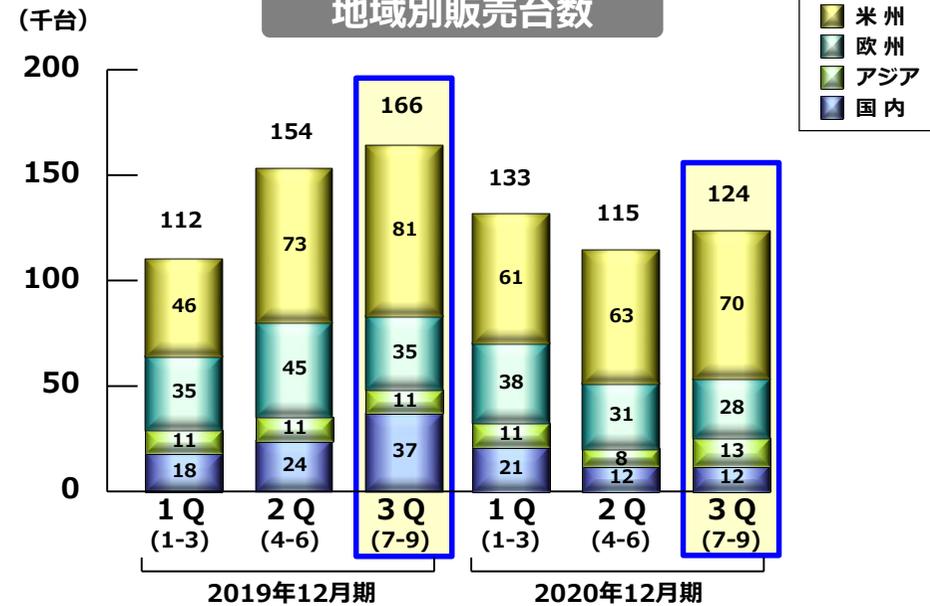
※ 2018年12月期は決算期変更のため、当社および国内連結子会社は10カ月・海外連結子会社は12カ月の変則決算となっております。2018年12月期(参考)として示す数値は、2019年12月期以降と同じ四半期に置き換えて算出した参考値です。



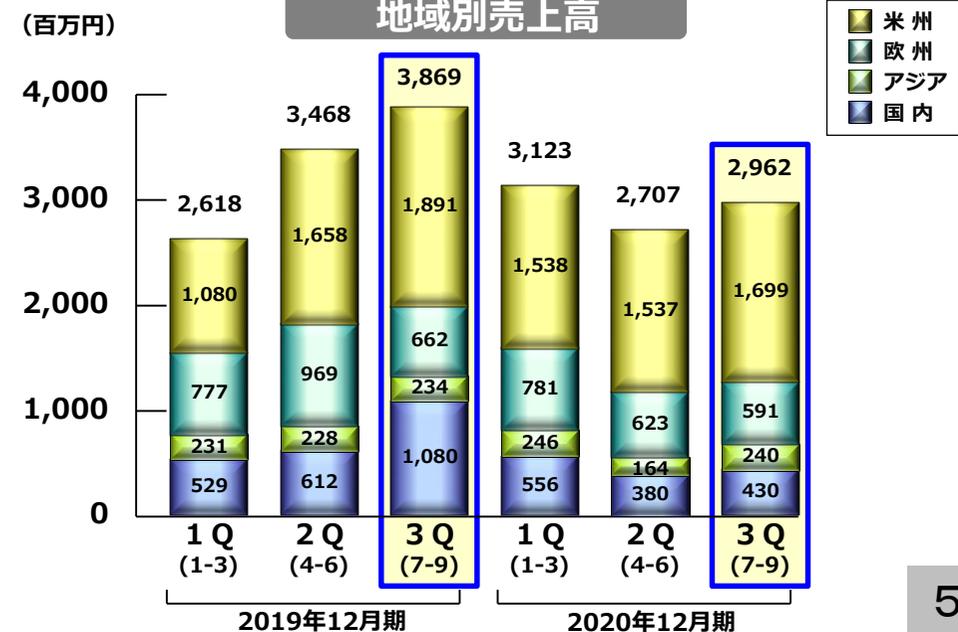
売上高



地域別販売台数

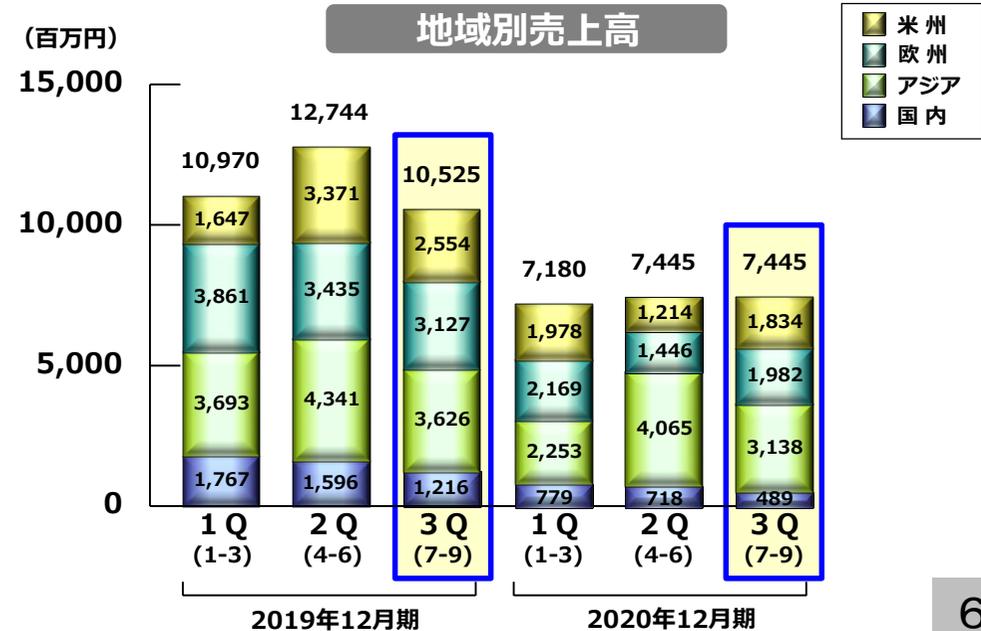
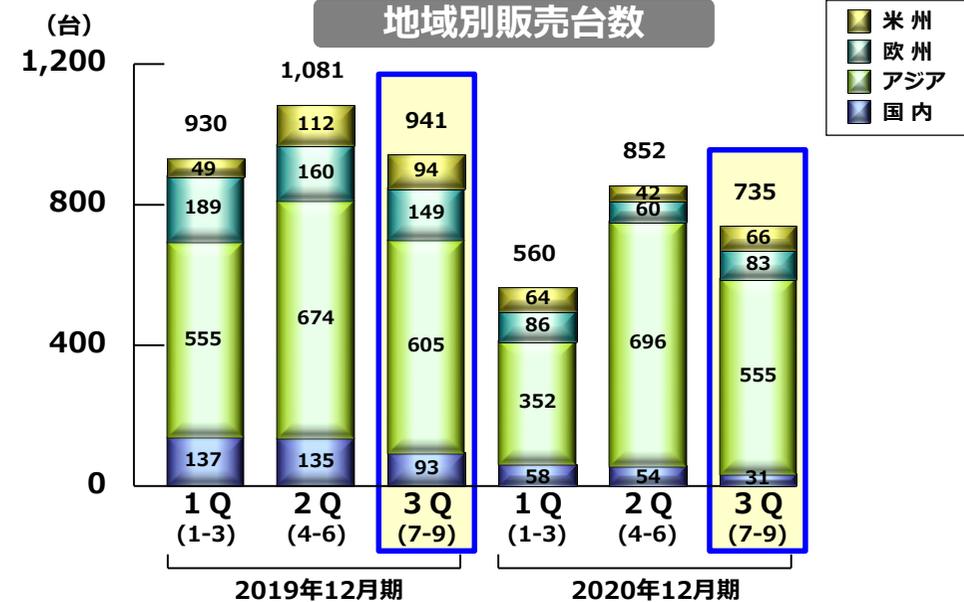
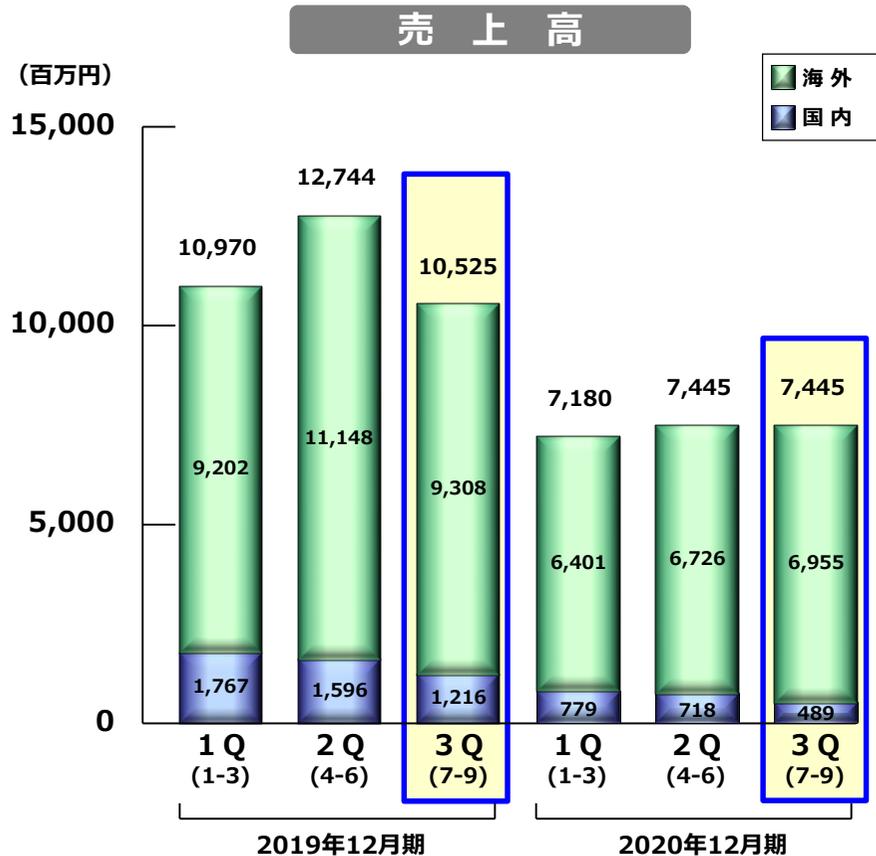


地域別売上高



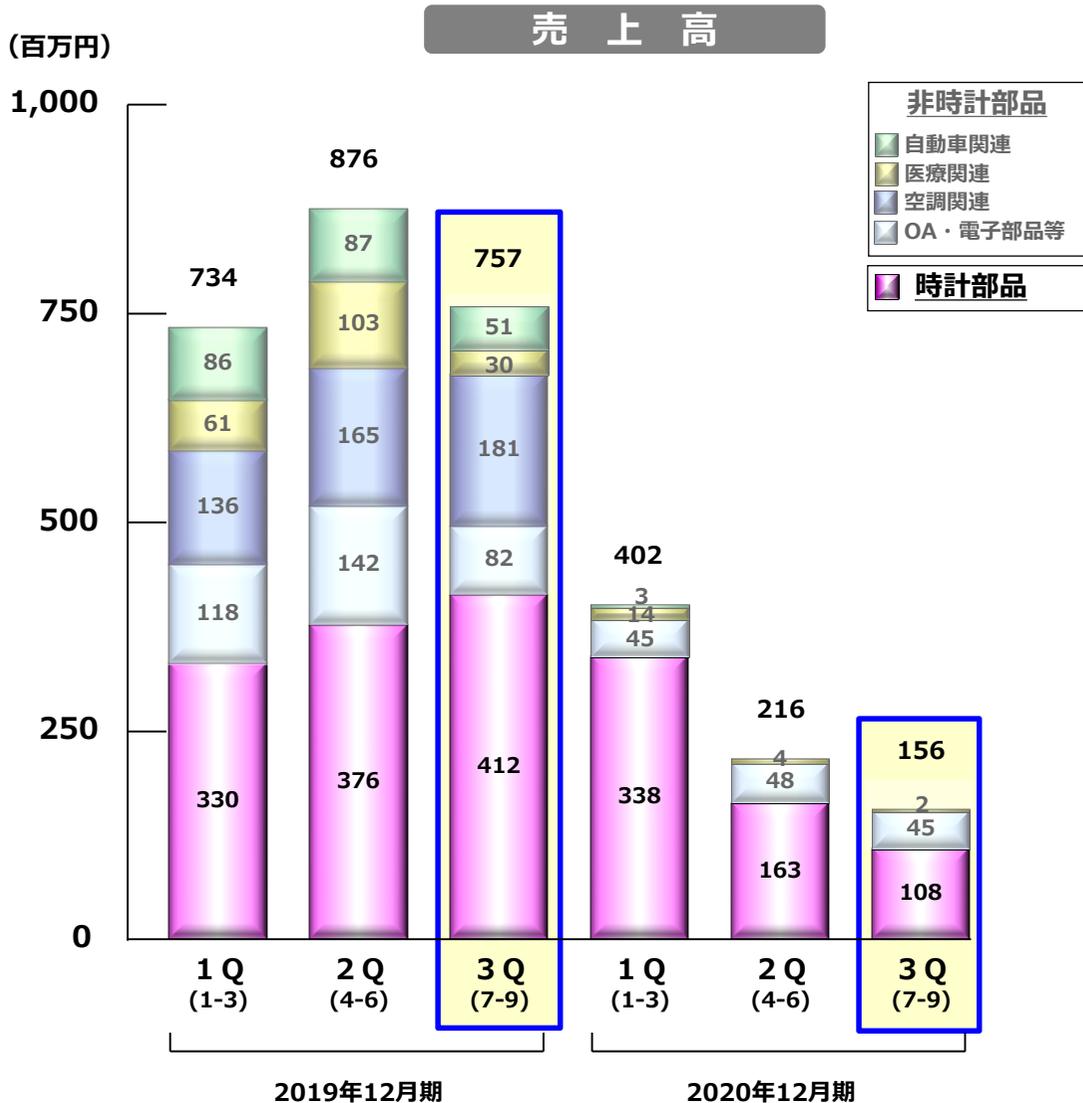
- ・各市場とも新型コロナウイルス感染症の影響を受ける
- ・米国市場はフードデリバリー向けが好調で売上は増加
- ・欧州市場は市況が低迷し、売上は減少
- ・国内市場は消費増税特需の反動も重なり、売上は減少

※上記は当第3四半期連結累計期間に対するコメントです



- ・各市場とも新型コロナウイルス感染症の影響を受ける
- ・米国市場は販売活動が制限されたこともあり売上は大幅に減少
- ・欧州市場・国内市場では自動車関連に回復の兆しが見え始めたものの、売上は大幅に減少
- ・アジア市場では、中国では、いち早く需要が回復したものの、期初の落ち込みを補うには至らず、売上は減少

※上記は当第3四半期連結累計期間に対するコメントです



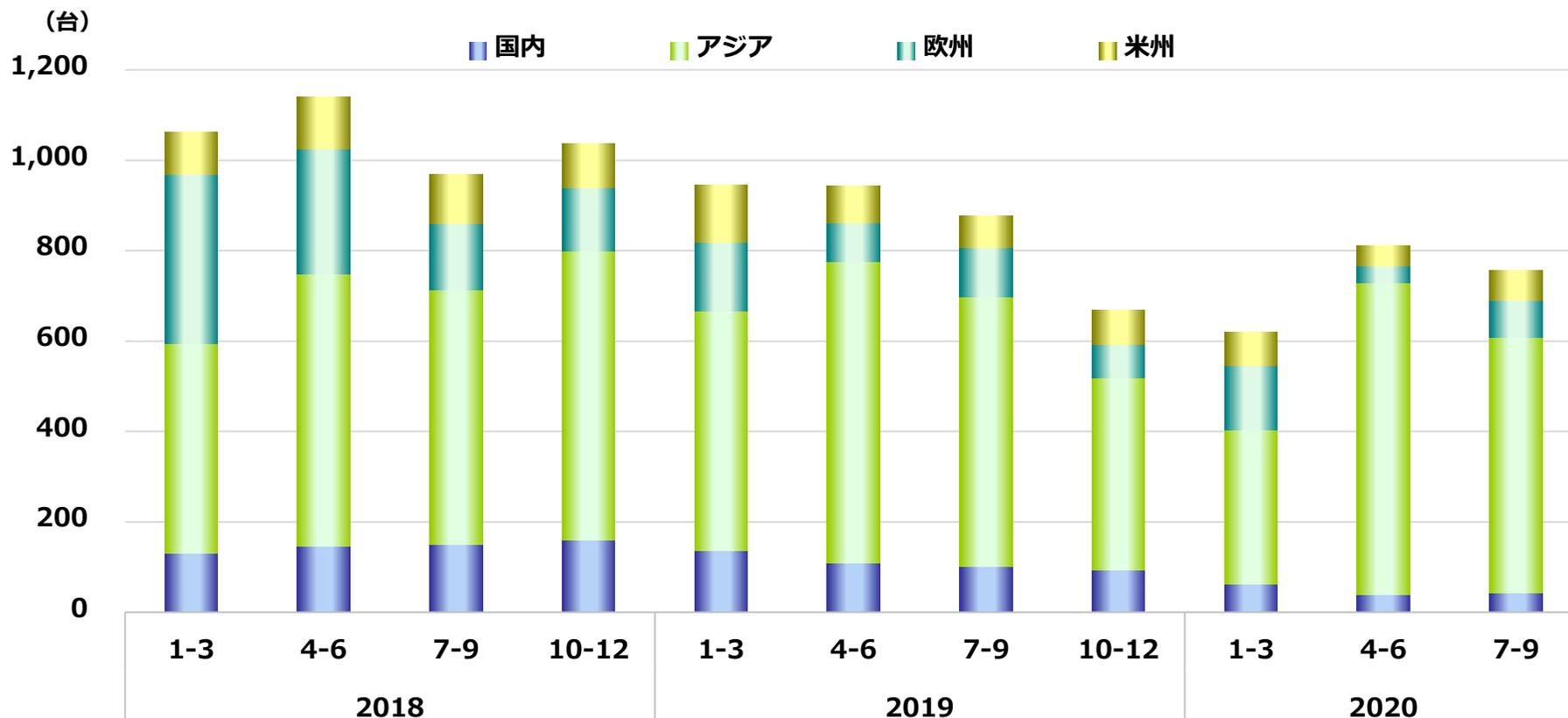
- ・ 時計部品は、腕時計メーカーでの新型コロナウイルス感染症の影響による販売不振を受け、売上は大幅に減少
- ・ 非時計部品は2020年3月末をもって基本的に撤退

※上記は当第3四半期連結累計期間に対するコメントです

〈参考資料〉

工作機械受注台数 <四半期推移>

(受注台数)



	2018				2019				2020		
	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月
米州	94	115	109	96	127	82	71	76	74	44	67
欧州	375	277	145	141	153	87	108	75	142	37	83
アジア	463	602	564	640	529	666	595	425	340	690	563
国内	131	146	150	159	137	109	102	93	63	38	44
合計	1,063	1,140	968	1,036	946	944	876	669	619	809	757

特機 事業



キャッシュドローア&プリンター
mPOP



小型プリンター
mC-Printシリーズ



モバイルプリンター
SM-L200

工作機械 事業



主軸固定型自動旋盤 SK-51 type A



スイス型CNC自動旋盤 SX-38 type B



スイス型CNC自動旋盤 SR-20JII type B

精密部品 事業

時計部品

